

音楽にあふれる3日間

白河まちなか音楽3Days2020は、コミネス大ホール、小ホール、まちなかに残る歴史的建造物の蔵などを会場に、ふらっとまちなかを回遊しながら素晴らしい音楽に出逢える3日間です。

11/1
(日)

弦楽器の魅力の名曲で堪能する極上のひととき ハナミズキ室内合奏団 ヴァイオリニスト小川有紀子とゆかいな仲間たちによる演奏会

大ホールでの演奏は、弦楽九重奏で、華やかにモーツァルトのディヴェルティメントをはじめとする名曲の数々をお届けします。小ホールでは弦楽四重奏でドヴォルザークの「アメリカ」を演奏し豪華に締めくくる予定です。素晴らしい演奏の数々をお楽しみください。

12:20 開場 / 13:00 開演 [大ホール] 全席自由 一般 1,000円 友の会 800円

出演 / ハナミズキ室内合奏団 (弦楽九重奏)



Vn 小川有紀子

東京藝術大学首席卒業、英国王立音楽院大学院首席卒業。英国王立音楽院大学院へ留学。英国王立音楽院コンチェルトコンクール第1位、など入賞多数。東京藝術大学非常勤講師などを務め、現在仙台フィル第2ヴァイオリン副首席奏者。紀尾井ホール室内管弦楽団メンバー。ハナミズキ音楽アカデミー主宰。ハナミズキ室内合奏団主宰。株式会社ハナミズキ音楽事務所共同代表。

ハナミズキ室内合奏団

演奏を通して、出会いという繻(まゆ)から少しずつ太い絆に育てて行く。シルクのような肌触りでほんのりと優しい気持ちにさせてくれる演奏を奏でます。経験豊富なメンバーで仙台に本拠を定め、日本全国で活動しつつ、被災地の皆様に寄り添った復興支援コンサートを通して『心の復興』に寄与しております。

11/3
(火祝)

ハナミズキ室内合奏団 弦楽四重奏演奏会

10:30 開場 / 11:00 開演 [小ホール] 全席自由

一般・友の会 500円
出演 / ハナミズキ室内合奏団 (弦楽四重奏)



菊地知也(Vc)



西谷牧人(Vc)



吉村知子(Vn)



村津瑠紀(Vn)



中村智香子(Va)



大野かおる(Va)



佐野央子(Cb)



谷村愛美(Vn)

11/1
(日)

心躍る、ジャズの素晴らしい世界を旅する What a Wonderful Jazz Trip!

テクニクと、歌心溢れる女性的な表現力と男性的な力強いサウンドを併せ持つと定評！

18:30 開場 / 19:30 開演 [小ホール] 全席自由 一般・友の会 500円

出演 / 名雪祥代クインテット

名雪祥代

昭和音楽大学、大学院でクラシックサクソフォンを学び、読売新人演奏会出演や、昭和音大オーケストラのコンチェルトソリストを務める等、クラシックプレイヤーとしての研鑽を積んだ。正確なサクソフォンの奏法に裏付けされたテクニクと、歌心溢れる女性的な表現力、男性的な力強いサウンドの両方を併せ持つと定評がある。宮城県在住で東北各地、さらには全国に向けてジャズを発信し続ける女流サクソプレイヤー。現在、NHK ラジオ第一「ゴジだっちゃん」水曜パーソナリティとしてレギュラー出演中。



三ヶ田伸也 (Bass)

今村陽太郎 (Dr)

名雪祥代 (Sax)

大塚涼太 (G)

11/1
(日)

音とリズムによる至極のパフォーマンス 一般参加タップダンスLive

あの熱いタップを再び！2018年に続いて一般参加によるエネルギー溢るタップダンスLiveをお届けします。ひとりひとりの鼓動が音になって伝わるここだけのステージをお楽しみください。

14:00 開場 / 15:00 開演 [小ホール] 全席自由 一般・友の会 500円

出演 / 中山貴踏、NAZI、BAN、京、一般参加者



中山貴踏 (タップ)

NAZI (ブレイクダンス)

BAN (パーカッション)

京 (ピアノ)

中山貴踏

2013年に地元福島へ拠点を移し、現在は、文化芸術事業や県内・県外劇場公演出演、ART FES、ART PROJECT、野外音楽FESに参加。その他、舞台構成、舞台演出、振り付け、LIVE、ワークショップ、文化庁委託事業アウトリーチを行っている。2017年にFUKUSHIMA TAP PROJECTを立ち上げ、TAPの歴史と文化に敬意を持ち、「福島から世界へ」をテーマに活動中。

11/2
(月)

音楽とトークで繰り広げるROCKな夜 ロックな講演+ミニライブ！

ハウンド・ドックの育ての親ともいえる音楽プロデューサー斎藤良氏を招き、トークとともに懐かしい映像で時代を振り返ります。後半は元ハウンド・ドックキーボード・作詞作曲担当、蓑輪単志氏によるミニライブを開催！

18:00 開場 / 18:30 開演 [小ホール] 全席自由 一般・友の会 500円

出演 / 斎藤良、蓑輪単志

■「東北ロックの細道」～斎藤良 トーク&映像

■「ハウンド・ドックのサウンドを作った男」～蓑輪単志(トーク&映像&ライブ)



斎藤良

音楽プロデューサー



蓑輪単志

元ハウンド・ドック

キーボード及び作詞作曲

1948年白河市生まれ。「ハウンド・ドック」のデビューに伴い事務所設立。野外フェスの草分けとなる「ロックンロールオリンピック」を81年から14年間主催した他、多彩なイベントを仕掛けている。

東北学院大学在学中にハウンド・ドックに参加。1985年「ff(フォルティシモ)」でメジャー認知が広がる。LIVEの代表曲のひとつ「ONLY LOVE」など多数作曲・編曲。バンドを離れた後、多方面にわたる音楽制作と作詞作曲ほか演奏活動を続けている。

11/3
(火祝)

日本を代表するプロ合唱団の歌声がここに 東京混声合唱団特別演奏会

あらゆるジャンルの合唱曲に取り組むプロの合唱団として日本の合唱界をリード。美しい歌声のハーモニーをご堪能ください。公募により集結した一般参加の合唱団との馴染みのある曲「群青」「大地讃頌」などの合同演奏もお楽しみください。

15:00 開場 / 15:30 開演 [大ホール] 全席指定 一般 2,500円 友の会 2,000円

出演 / 東京混声合唱団、松村秀明(指揮)、酒井有彩(ピアノ)、一般参加(合唱)



指揮
松村秀明

Hideaki Matsumura



ピアノ
酒井有彩

Arisa Sakai

慶應義塾大学法学部卒業。洗足学園音楽大学附属指揮研究所マスターコース修了。「アフィニス夏の音楽祭」に指揮研究員として参加。紀尾井シンフォニエッタ東京で研鑽を積む。アントニオ・パドロット国際指揮者コンクール第3位入賞。イタリアのボルツァーノ＝トレント・ハイドン管に客演。国内主要オーケストラに客演。また、2019年の天皇陛下のご退位と新天皇ご即位にあたり、日本テレビによって制作された楽曲「新時代へ」(佐藤直紀作曲)の録音を指揮(演奏は読売日本交響楽団)。大きな話題となっている。

四天王寺高等学校を卒業後、文化庁新進芸術家在外研修員としてベルリン芸術大学を最優秀で卒業、ドイツ国家演奏家資格取得。ポーランド国立放送響、リベランプレート響、大阪響、関西フィル、日本センチュリー響、兵庫PAC管、モディリアーニ弦楽四重奏団などと共演。CHANEL Pygmalion Daysアーティスト、大山平一郎氏が芸術監督を務めるMusic Dialogue アーティスト。地域創造公共ホール音楽活性化事業登録アーティストとしてソロ、室内楽と幅広く活動中。2019年デビューCD【ラヴェルピアノ協奏曲】をリリース(レコード芸術誌特選盤)。www.arisasakai.com

東京混声合唱団

1956年に創設された日本を代表するプロ合唱団。東京・大阪での定期演奏会、内外のオーケストラとの共演やオペラ、青少年を対象とした鑑賞音楽教室、海外公演を含む年間150回の公演のほか、数多くのレコーディングやテレビ等への出演を行っている。そのレパートリーは幅広く、内外の古典から現代作品までと全合唱分野を網羅している。

【東京混声合唱団が歌うこと】

歌うことは東京混声合唱団にとって生きることです。雨が降ったら傘をさすように、コロナの間はマスクを着けて歌います。2020年11月3日、東京混声合唱団は白河の皆さんと一緒に歌って生きる喜びを共にします。

一般参加合唱団等

コミネス混声合唱団、白河女声合唱団、混声合唱団しらかわ、さくらコーラス、あぶくま混声合唱団、一般参加者